

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型)

円コース (年2回決算型)
豪ドルコース (年2回決算型)
ブラジルリアルコース (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

償還交付運用報告書

第11期 (償還日: 2020年5月22日)

作成対象期間 (2019年11月26日~2020年5月22日)

第11期末 (2020年5月22日)			
	円コース (年2回決算型)	豪ドルコース (年2回決算型)	ブラジルリアルコース (年2回決算型)
償還価額	10,496円17銭	8,462円45銭	6,983円96銭
純資産総額	40百万円	2百万円	3百万円
第11期 (2019年11月26日~2020年5月22日)			
騰落率	△9.1%	△15.5%	△35.1%
分配金合計	-円	-円	-円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) (年2回決算型)」は、2020年5月22日をもって満期償還を迎えました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。長い間ご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号: 03-5156-5108

受付時間: 営業日の午前9時~午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

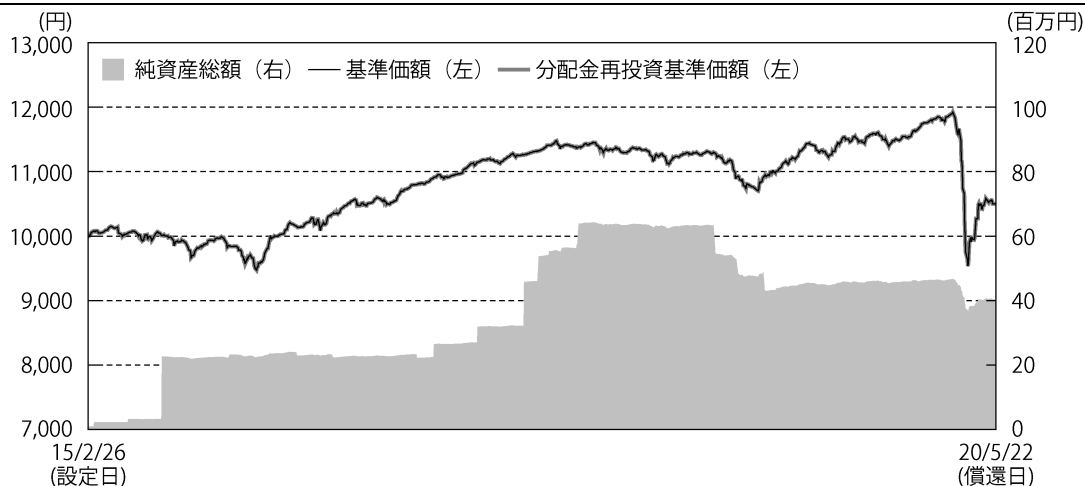
*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

【円コース（年2回決算型）】

■設定以来の基準価額等の推移について

（2015年2月26日～2020年5月22日）



設定日：10,000円

償還日：10,496円17銭（既払分配金0円）

騰落率：5.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。主要中央銀行の緩和的な政策姿勢等を背景に、高利回り債券への旺盛な需要を受けて、欧州ハイ・イールド社債市場全体は上昇基調となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2019年11月26日～2020年5月22日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	65円	0.578%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は11,226円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0.242)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.323)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.049	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用・印刷費用等)	(5)	(0.049)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	70	0.627	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

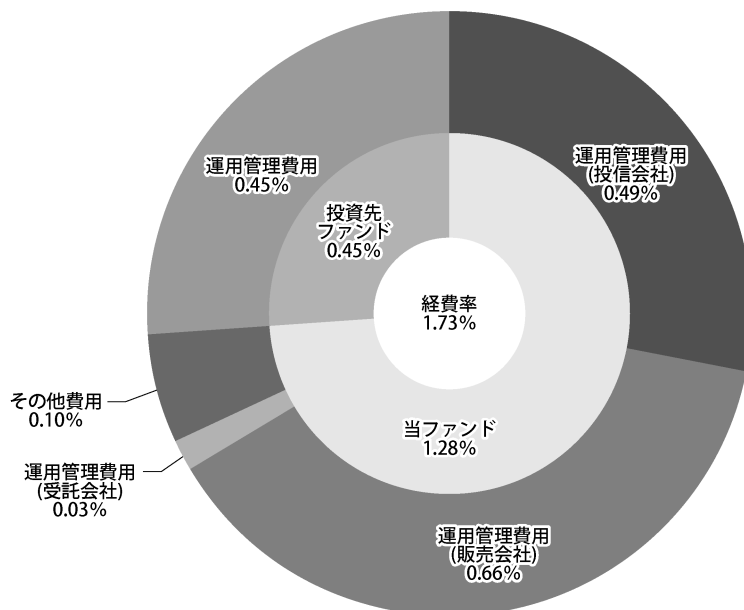
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）**○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.73%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.73
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

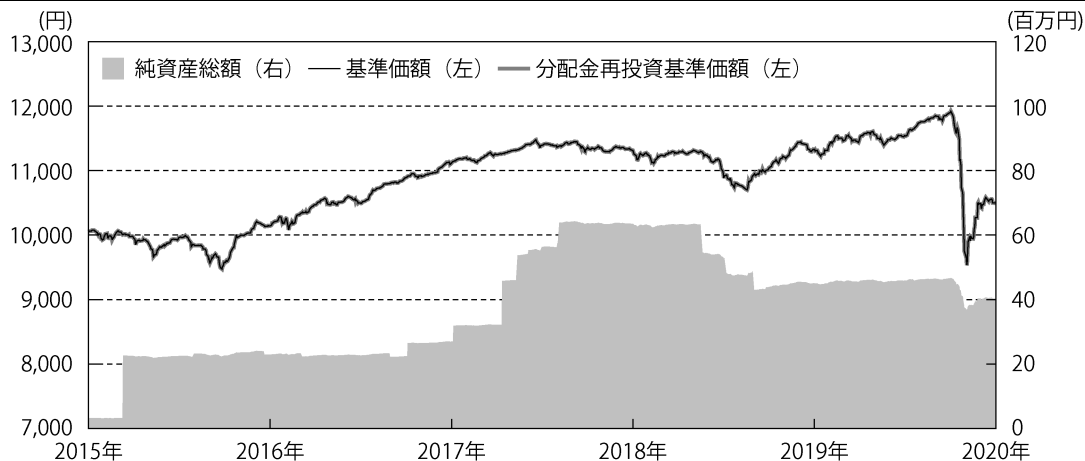
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2015年5月22日～2020年5月22日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年5月22日	2015年11月24日	2016年11月24日	2017年11月24日	2018年11月26日	2019年11月25日	2020年5月22日 (償還日)
基準価額 (円)	10,054	9,971	10,518	11,408	10,929	11,547	10,496.17
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△0.8	5.5	8.5	△4.2	5.7	△9.1
純資産総額 (百万円)	3	22	22	56	48	45	40

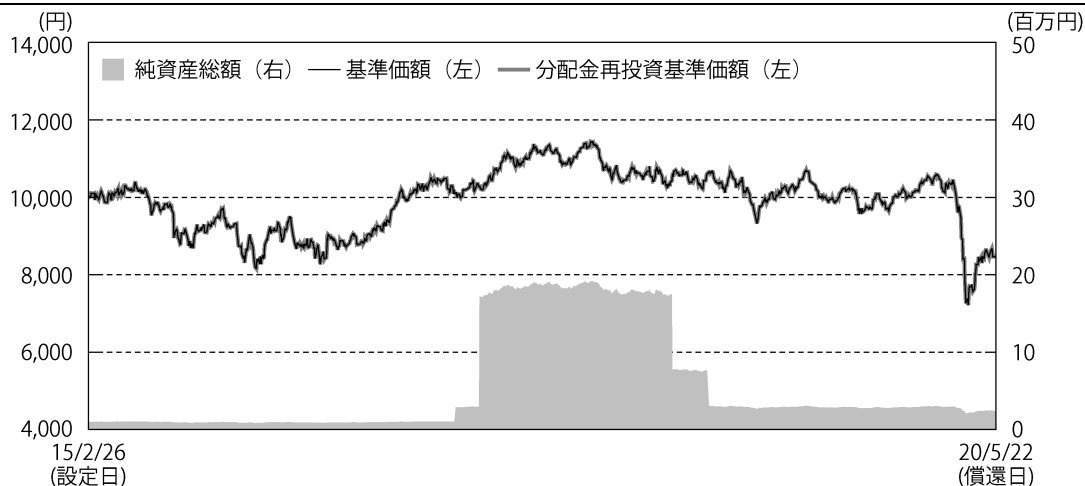
●当ファンドは、DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）及びDWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクトに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【豪ドルコース（年2回決算型）】

■設定以来の基準価額等の推移について

（2015年2月26日～2020年5月22日）



設定日：10,000円

償還日：8,462円45銭（既払分配金0円）

騰落率：△15.4%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。主要中央銀行の緩和的な政策姿勢等を背景に、高利回り債券への旺盛な需要を受けて、欧州ハイ・イールド社債市場全体は上昇基調となりました。一方、為替市場において豪ドルが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2019年11月26日~2020年5月22日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	55円	0.578%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,532円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.242)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.323)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.046	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用・印刷費用等)	(4)	(0.046)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	59	0.624	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

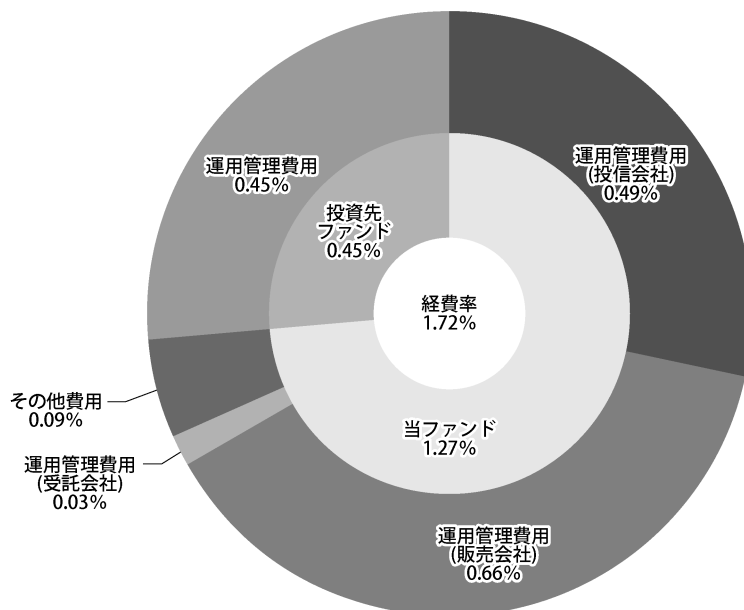
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）**○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.72%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.72
①当ファンドの費用の比率	1.27
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2015年5月22日～2020年5月22日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年5月22日	2015年11月24日	2016年11月24日	2017年11月24日	2018年11月26日	2019年11月25日	2020年5月22日 (償還日)
基準価額 (円)	10,211	9,481	9,566	10,868	10,303	10,011	8,462.45
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△7.1	0.9	13.6	△5.2	△2.8	△15.5
純資産総額 (百万円)	1	0.9	0.9	18	2	2	2

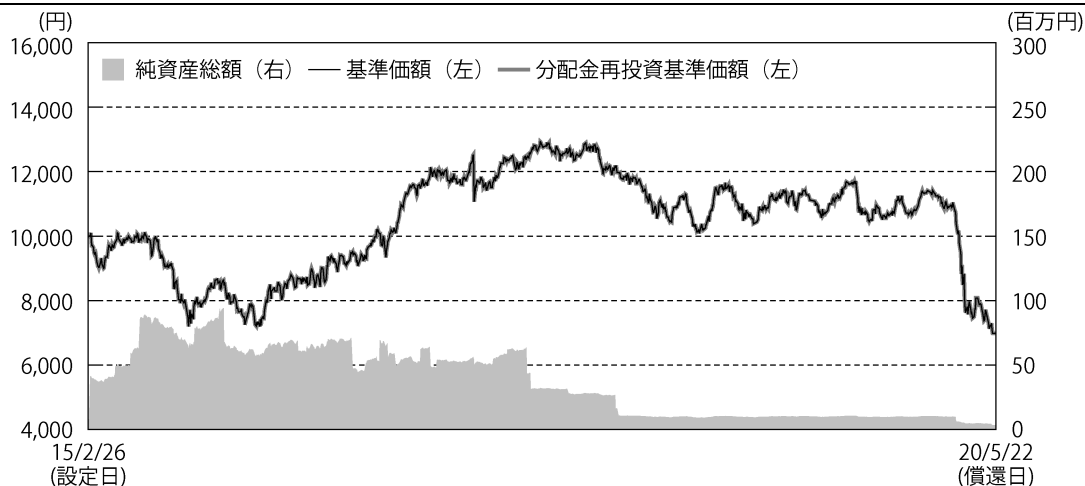
●当ファンドは、DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（豪ドル）及びDWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクトに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【ブラジルリアルコース（年2回決算型）】

■設定以来の基準価額等の推移について

（2015年2月26日～2020年5月22日）



設定日：10,000円

償還日：6,983円96銭（既払分配金0円）

騰落率：△30.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。主要中央銀行の緩和的な政策姿勢等を背景に、高利回り債券への旺盛な需要を受けて、欧州ハイ・イールド社債市場全体は上昇基調となりました。一方、為替市場においてリアルが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2019年11月26日~2020年5月22日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	57円	0.578%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,802円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.242)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.323)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (監査費用・印刷費用等)	5 (5)	0.049 (0.049)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	62	0.627	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

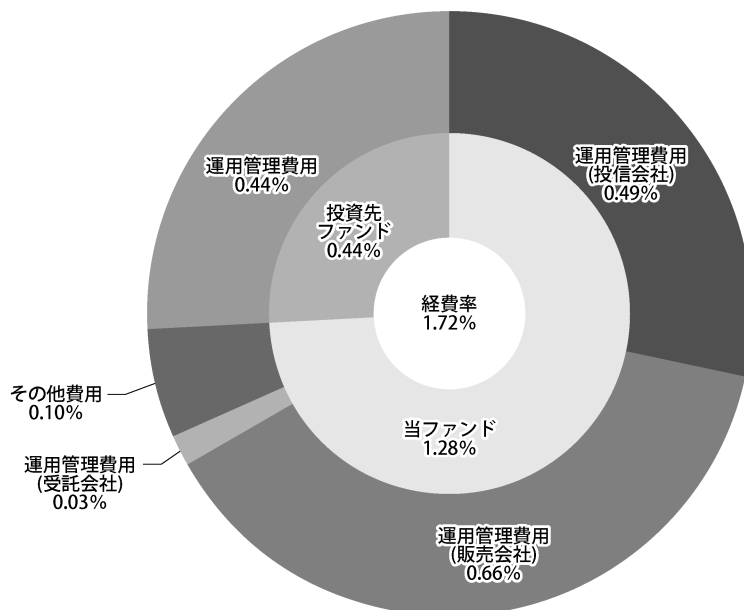
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）**○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.72%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.72
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.44

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2015年5月22日～2020年5月22日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年5月22日	2015年11月24日	2016年11月24日	2017年11月24日	2018年11月26日	2019年11月25日	2020年5月22日 (償還日)
基準価額 (円)	9,997	8,652	10,087	12,550	11,003	10,762	6,983.96
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△13.5	16.6	24.4	△12.3	△2.2	△35.1
純資産総額 (百万円)	49	86	59	31	9	9	3

●当ファンドは、DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ブラジルレアル）及びDWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクトに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

（2015年2月26日～2020年5月22日）

主要な指標となる米国やドイツの10年国債利回り（長期金利*）は低下しました（価格は上昇）。各国中央銀行が緩和的な政策姿勢を維持する中、利回り狙いの資金流入等を背景に、長期金利は低下しました。また、世界景気に対する不透明感の強まりや、米中貿易交渉の難航、新型肺炎の感染拡大等を背景にリスク回避的な動きが顕著となった局面でも、安全資産としての国債需要から金利は低下傾向となりました。

欧州ハイ・イールド社債市場では、主要中銀による低金利環境の継続を背景に、相対的に高い利回りに対する旺盛な資金需要等を受けて、上昇基調となりました。

為替市場では、欧州中央銀行（ECB）による強力な金融緩和策の維持や、米中貿易交渉の継続、英国の欧州連合（EU）離脱動向の難航、新型コロナウイルスの感染拡大、世界景気の不透明感の強まり等が材料となり、安全資産としての円買いが優勢となったことから、ユーロは対円で下落しました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

（2015年2月26日～2020年5月22日）

【円コース】／【豪ドルコース】／【ブラジルリアルコース】

各ファンドでは当初の運用方針通り、主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

（DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド）

国別の運用状況につきましては、経済回復の相対的に堅調な国の企業を中心に組み入れました。組入れ上位としては、アメリカ、ドイツ、フランスなどを高めとしています。また、セクター別ではグローバルに展開している企業が多く見られる素材セクターのほか、ディフェンシブ性の高い電気通信サービスなどのセクターを高めの配分としました。また、企業ファンダメンタルズが良好な企業やバリュエーション面から投資妙味が高いと判断した銘柄を選択的に購入しました。相場が弱含んだ局面では割安感の出てきた既発債を購入した一方、相場の上昇局面においては一部で利益を確定するなどの売却を行いました。新発債への投資も積極的に実施しました。

（DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト）

主に変動利付債券を組入れて運用を行いました。

■ベンチマークとの差異について

（2015年2月26日～2020年5月22日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■分配金について

【円コース（年2回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきました。

【豪ドルコース（年2回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきました。

【ブラジルリアルコース（年2回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきました。

当ファンドをご愛顧いただきましたことをここに厚く御礼申し上げます。

お知らせ

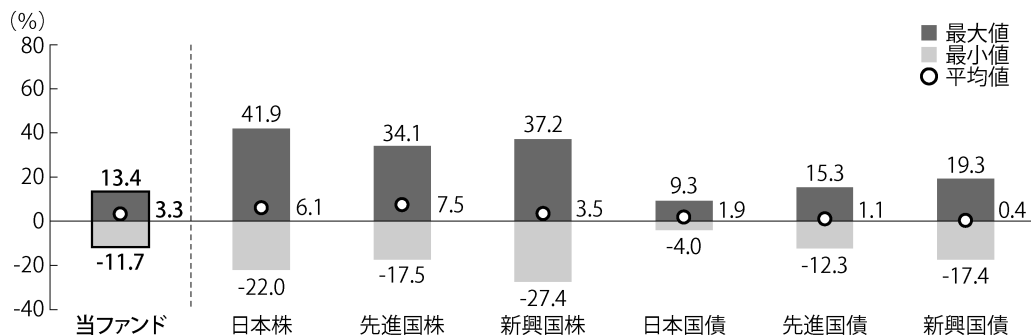
当ファンドの投資対象である外国投資信託の名称が、2020年2月7日付で、「DWS ユーロ・リザーブ・ファンド」から、「DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト」に変更されました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券				
信託期間	2015年2月26日から2020年5月22日まで				
運用方針	インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。				
主要投資対象	当ファンド	原則として、ルクセンブルグ籍外国投資信託であるDWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド及びルクセンブルグ籍外国投資信託であるDWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクトに投資を行うことを基本とします。			
	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド	ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とします。			
	DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト	ユーロ建の短期金融商品等を主要投資対象とします。			
運用方法	主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 <豪ドルコース／ブラジルリアルコース>では、実質的な保有外貨建資産に対して原則として当該通貨売り、以下の通貨買いの為替取引を行うルクセンブルグ籍外国投資信託であるDWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドに投資を行います。				
	<table border="1"> <tr> <td>豪ドルコース</td> <td>ブラジルリアルコース</td> </tr> <tr> <td>豪ドル</td> <td>ブラジルリアル</td> </tr> </table>	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	豪ドル	ブラジルリアル
豪ドルコース	ブラジルリアルコース				
豪ドル	ブラジルリアル				
	<円コース>では、実質的な保有外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うルクセンブルグ籍外国投資信託であるDWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドに投資を行います。 また、各コースはルクセンブルグ籍外国投資信託DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクトにも投資を行います。				
分配方針	毎決算時（原則として毎年5月24日及び11月24日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。				

代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2015年5月末～2020年4月末)

【円コース (年2回決算型)】



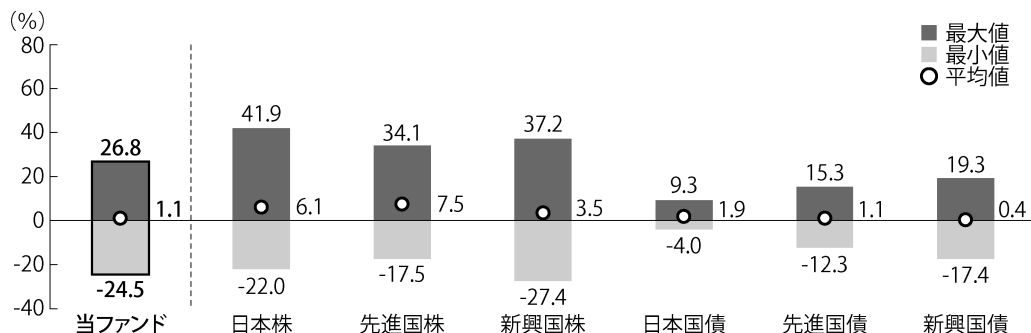
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	3.3	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4
最大値	13.4	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	-11.7	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【豪ドルコース (年2回決算型)】



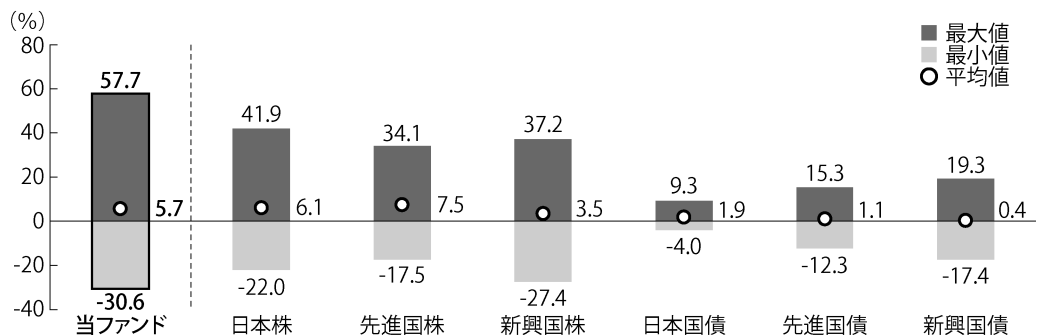
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.1	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4
最大値	26.8	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	-24.5	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【ブラジルリアルコース（年2回決算型）】



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.7	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4
最大値	57.7	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	-30.6	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2015年5月～2020年4月の5年間ににおける年間騰落率の平均・最大・最小を、各ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、各ファンドの設定日は2015年2月26日であるため、年間騰落率は2016年2月以降のものとなります。したがって、各ファンドと代表的な資産クラスとで比較対象期間が異なります。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデクスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、T O P I Xの算出もしくは公表の方法の変更、T O P I Xの算出もしくは公表の停止またはT O P I Xの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C Iに帰属します。また、M S C Iは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P Iは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社はN O M U R A - B P Iを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

【円コース（年2回決算型）】

■当ファンドの組入資産の内容

信託終了日における有価証券の組入れはございません。

■純資産等

項 目	償 還 日
	2020年5月22日
純 資 産 総 額	40,336,170円
受 益 権 総 口 数	38,429,435口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額	10,496円17銭

当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,333,992円です。

【豪ドルコース（年2回決算型）】

■当ファンドの組入資産の内容

信託終了日における有価証券の組入れはございません。

■純資産等

項 目	償 還 日
	2020年5月22日
純 資 産 総 額	2,415,501円
受 益 権 総 口 数	2,854,374口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額	8,462円45銭

当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

【ブラジルリアルコース（年2回決算型）】

■当ファンドの組入資産の内容

信託終了日における有価証券の組入れはございません。

■純資産等

項 目	償 還 日
	2020年5月22日
純 資 産 総 額	3,535,814円
受 益 権 総 口 数	5,062,762口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額	6,983円96銭

当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は4,101,578円です。

投資信託財産運用総括表

【円コース（年2回決算型）】

信託期間	投資信託契約締結日	2015年2月26日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年5月22日			
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	資産総額	40,610,812円
受益権口数	1,000,000口	38,429,435口	37,429,435口	負債総額	274,642円
元本額	1,000,000円	38,429,435円	37,429,435円	純資産総額	40,336,170円
				受益権口数	38,429,435口
				1万口当たり償還金	10,496.17円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	3,227,986円	3,248,464円	10,063円	0円	0%
第2期	22,586,772	22,520,953	9,971	0	0
第3期	22,608,921	22,953,701	10,152	0	0
第4期	21,613,599	22,732,698	10,518	0	0
第5期	24,267,470	27,019,838	11,134	0	0
第6期	49,415,014	56,371,222	11,408	0	0
第7期	56,095,137	63,142,078	11,256	0	0
第8期	44,053,498	48,147,536	10,929	0	0
第9期	39,763,427	44,942,988	11,303	0	0
第10期	39,763,427	45,913,869	11,547	0	0

【豪ドルコース (年2回決算型)】

信託期間	投資信託契約締結日	2015年2月26日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年5月22日			
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	資産総額	2,432,378円
受益権口数	1,000,000口	2,854,374口	1,854,374口	負債総額	16,877円
				純資産総額	2,415,501円
元本額	1,000,000円	2,854,374円	1,854,374円	受益権口数	2,854,374口
				1万口当たり償還金	8,462.45円

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,000,000円	1,017,826円	10,178円	0円	0%
第2期	1,000,000	948,103	9,481	0	0
第3期	1,021,606	889,864	8,710	0	0
第4期	1,032,598	987,793	9,566	0	0
第5期	2,854,374	2,941,209	10,304	0	0
第6期	16,773,943	18,230,095	10,868	0	0
第7期	16,773,943	17,782,406	10,601	0	0
第8期	2,854,374	2,940,987	10,303	0	0
第9期	2,854,374	2,845,482	9,969	0	0
第10期	2,854,374	2,857,399	10,011	0	0

【ブラジルリアルコース（年2回決算型）】

信託期間	投資信託契約締結日	2015年2月26日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年5月22日			
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	資産総額	3,583,944円
受益権口数	1,000,000口	5,062,762口	4,062,762口	負債総額	48,130円
元本額	1,000,000円	5,062,762円	4,062,762円	純資産総額	3,535,814円
				受益権口数	5,062,762口
				1万口当たり償還金	6,983.96円

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	50,007,561円	49,593,075円	9,917円	0円	0%
第2期	99,905,194	86,441,868	8,652	0	0
第3期	70,340,121	60,443,898	8,593	0	0
第4期	58,882,545	59,393,493	10,087	0	0
第5期	44,918,570	52,238,285	11,630	0	0
第6期	24,918,493	31,273,619	12,550	0	0
第7期	9,071,082	10,173,830	11,216	0	0
第8期	9,071,082	9,980,895	11,003	0	0
第9期	9,164,340	9,755,770	10,645	0	0
第10期	9,164,340	9,862,565	10,762	0	0

■<ご参考> 用語の解説

用 語	内 容
運 用 報 告 書	投資信託がどのように運用され、その結果どうなったかを決算ごとに受益者（投資家）に報告する説明書です。この中では基準価額、分配金の状況や今後の運用方針などが詳しく説明されています。
純 資 産 総 額	投資信託は株式や公社債等の値動きのある有価証券に投資します。この有価証券を時価で評価し、株式や公社債等から得られる配当金や利息等の収入を加えた資産の総額から、ファンドの運用に必要な費用等を差し引いた金額のことです。
収 益 分 配 金	投資信託の決算が行われた際に受益者（投資家）に支払われる金銭を「分配金」または「収益分配金」といいます。運用によって得た収益を分配するもので、株式の配当金に相当します。またファンドによっては分配金がその都度支払われるタイプと分配金を再投資するタイプがあります。
元 本 払 戻 金 (特 別 分 配 金)	受益者（投資家）が株式投資信託追加型の収益分配金を受取る際、収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額は「元本の一部払戻しに相当する部分」として非課税扱われます。これを「元本払戻金（特別分配金）」といいます。
基 準 価 額	投資信託の値段のことです。投資信託に組み入れている株式や債券などをすべて時価評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこからファンドの運用に必要な費用などを差し引いて純資産総額を算出し、さらにその時の受益権口数で割ったものが「基準価額」であり、毎日算出されています。
信 託 報 酬	投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。信託財産の中から運用会社・信託銀行・証券会社など販売会社へ間接的に支払われます。その割合および額は目論見書や運用報告書の運用管理費用（信託報酬）の項目に記載されています。
騰 落 率	投資信託の過去の運用実績（基準価額の推移の動向）を示すもので、基準価額の変動と支払われた分配金を組み合わせて算出します。ある一定期間中に投資信託の価値がどれだけ変化しているかを表します。例えば過去3ヶ月、6ヶ月、1年等、一定期間に基準価額がどの程度値上がり（または値下がり）したのかを表しています。

出所：一般社団法人投資信託協会等

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。